

令和5年8月29日

保護者の皆様

長万部町立長万部小学校長 附田 勇人

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、4月18日(火)に第6学年を対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。文部科学省より7月27日(木)に結果が公表されましたので、お知らせいたします。

本校では、全員が「わかる喜び」、「できる楽しさ」を実感できる授業を目指し、各教科で授業の改善に取り組んでいます。自ら進んで学び、主体的に考える授業や学んだことを確実に定着させる授業など、児童全員が見通しをもって授業に臨めるよう指導、支援を重ねております。

今後も引き続き、児童一人一人の資質・能力の向上に向けた指導法の改善を通して、よりよい授業の改善につなげ、一層の教育活動の充実に努めてまいります。

なお、第6学年には、個人の結果として個人票も併せて配付いたしますので、第6学年の保護者の皆様は、そちらで詳細をご確認くださいませよう、お願いいたします。

各教科の結果について

【国語】 本校の平均正答率 56% (全国比 83.3%)

分類		区分	全国比 (%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方	87.2
		(2) 情報の扱い方	73.2
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	91.9
		B 書くこと	67.0
C 読むこと		75.3	
評価の観点		知識・技能	83.7
		思考・判断・表現	82.6
問題形式		選択式	86.8
		短答式	65.6
		記述式	81.6

全国比について

各区分における平均正答率を、全国を100として、本校の結果を比較したものです。

<正答率が高く、資質・能力の定着が見られた項目>

- ◇ 「話すこと・聞くこと」(思考力、判断力、表現力等)
 - ・ 質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える。
 - ・ 目的に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較して自分の考えをまとめる。
- ◇ 「言葉の特徴や使い方」(知識及び技能)
 - ・ 文章の種類とその特徴について理解する。

<正答率が低く、今後対策していく項目>

- ◆ 「書くこと」(思考力、判断力、表現力等)
 - ・ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
- ◆ 「読むこと」(思考力、判断力、表現力等)
 - ・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。
 - ・ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。
 - ・ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。
- ◆ 「情報の扱い方」(知識及び技能)
 - ・ 原因と結果など情報と情報との関係について理解する。

<課題が見られる問題>

1 (二) 本校正答率 17.9% 全国正答率 26.7% 全国比 -8.8 ポイント

【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く。

(観点) 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

●

50字

100字

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらゆうで行を変えないで、続けて書きましょう。

(正答例) グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)

- (条件)
- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
 - 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
 - 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

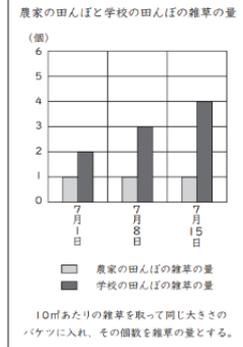
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。ウ きかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書くこととしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

に学校の米作りの
に入る内容を

2 (四) 本校正答率 35.7% 全国正答率 56.2% 全国比 -20.5 ポイント

資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く。

(観点) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

(正答例)

健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。(99字)

◆

50字

100字

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらゆうで行を変えないで、続けて書きましょう。

- (条件)
- 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
 - 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
 - 八十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

相田さんは、「資料1」、「資料2」、「資料3」を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

【算数】 本校の平均正答率 43% (全国比 68.8%)

分類	区分	全国比 (%)
学習指導要領の領域	A 数と計算	69.7
	B 図形	55.8
	C 測定	出題なし
	C 変化と関係	71.8
	D データの活用	82.9
評価の観点	知識・技能	74.1
	思考・判断・表現	61.8
問題形式	選択式	65.5
	短答式	78.6
	記述式	48.8

<正答率が高く、資質・能力の定着が見られた項目>

◇ 「変化と関係」
(知識・技能)

- ・ 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める。

<正答率が低く、今後対策していく項目>

◆ 「図形」

(思考・判断・表現)

- ・ 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。

(知識・技能)

- ・ 台形や正方形の意味や性質について理解する。

◆ 「変化と関係」

(思考・判断・表現)

- ・ 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する。

(知識・技能)

- ・ 百分率で表された割合について理解する。

◆ 「数と計算」

(思考・判断・表現)

- ・ 小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する。

(知識・技能)

- ・ 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる。

<課題が見られる問題>

1 (3)	本校正答率 22.2% 全国結果 55.5% 全国比 -33.3%
-------	-----------------------------------

椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く。

(観点) 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。

(正答例)

いすの数は、 $48 \div 4 = 12$ で、12倍になります。いすの数が12倍になると重さも12倍になるので、48きゃくのときの重さは、 $7 \times 12 = 84$ で、84kgです。

(3) いす4きゃくの重さをはかると、7kgでした。

このいす48きゃくの重さは、何kgですか。

求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、

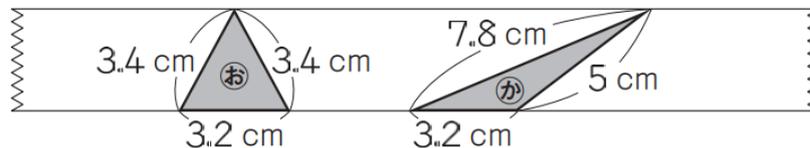
答えも書きましょう。



2 (4) 本校正答率 0.0% 全国結果 20.8% 全国比 -20.8%

テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く。(観点) 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊟と㊧の2つの三角形をつくります。



上の㊟と㊧の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊟の面積のほうが大きい。
- 2 ㊧の面積のほうが大きい。
- 3 ㊟と㊧の面積は等しい。
- 4 ㊟と㊧の面積は、このままでは比べることができない。

(正答例)

三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。「お」と「か」の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。「お」と「か」の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、「お」と「か」の面積は等しいです。

今後の授業の改善、指導・支援について

国語では、文章や図表を結び付けて自分の考えをまとめたり、必要となる情報や中心となる語や文をもとに要約をしたりするなど、自分の考えが伝わるように表現する「書く力」に課題があります。

また、算数でも理由や求め方、答えを言葉や数、式を用いて記述することなど、「書く力」に課題が見られます。台形や正方形、三角形などの意味や性質について問う問題でも正答率が低く、「図形領域」の学習の課題も明らかになりました。

自分の考えを適切に表現する場面、条件に応じて文章を要約する場面、学習したことを活用する場面など、基礎的な知識や技能の確実な定着とともに、児童自身が考えたり、表現したり、判断したりすることを大切にした授業の推進を図っていきます。

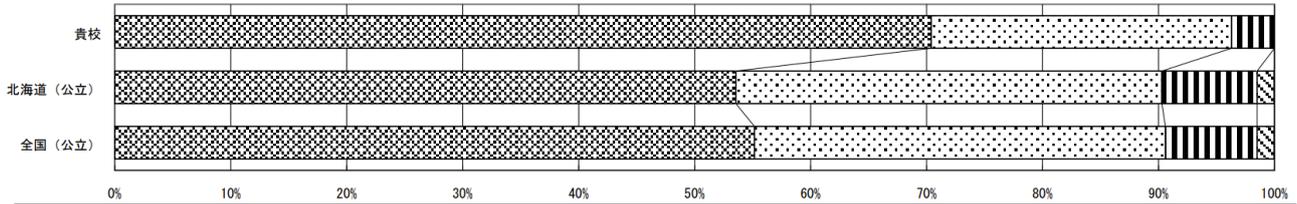
「わかる・できる・つかえる」をキーワードに、教員は、その授業において何を身に付けるのか、そのために何を学ぶのか、どのように学ぶのかなど、授業の目標を意識した授業づくりを確実に進めます。児童一人一人、何がわかったのか、何ができるようになったのかを実感できるようにします。

児童の学習・生活の様子について ～ 全国学力・学習状況調査「児童質問紙」より

全63項目の回答から、本校の児童の特徴的な項目についてお知らせいたします。

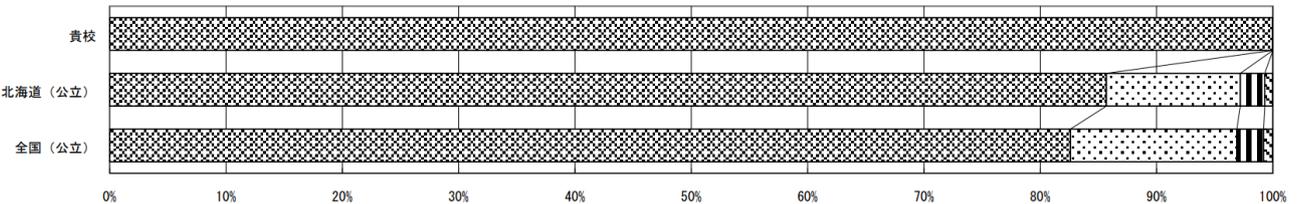
<肯定的回答が全国平均を上回り、今後更なる伸長が期待できる項目>

- ◇「毎日、同じくらいの時刻に起きている」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 96.3% 全国比△5.8ポイント (全国 90.5%)



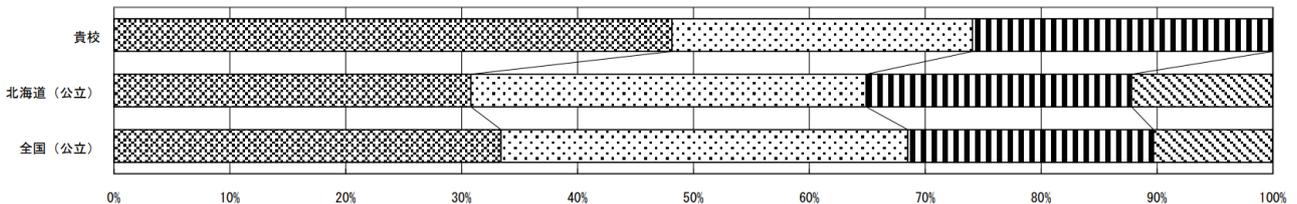
毎日、規則正しい生活をしていることが起床時刻に表れています。遅刻もほとんどありません。

- ◇「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 100.0% 全国比△3.1ポイント (全国 96.9%)



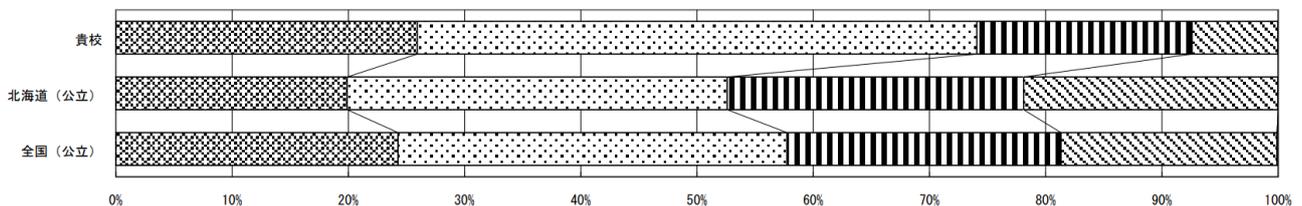
「いじめはいけない」100%の回答です。今後も継続し、全員が安心して生活できる学校にします。

- ◇「困りごとや不安がある時に、先生や大人にいつでも相談できる」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 74.0% 全国比△5.5ポイント (全国 68.5%)



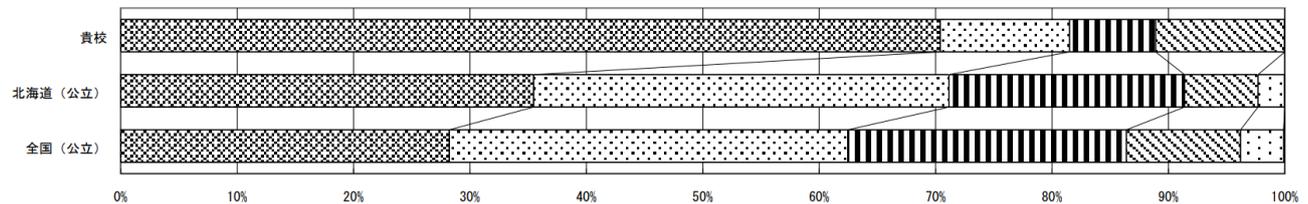
今後も児童の困り感や不安なことに対して、適切な指導・支援を継続していきます。

- ◇「今住んでいる地域の行事に参加している」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 74.0% 全国比△16.2ポイント (全国 57.8%)



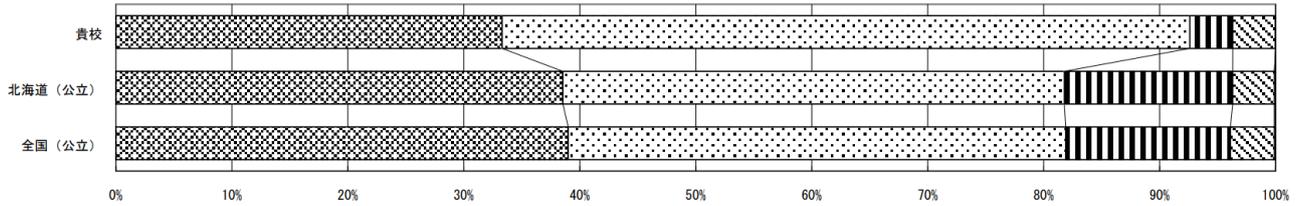
今後も「地域に開かれた学校」を目指し、教育活動を推進していきます。

- ◇「5年生までに受けた授業で、Chromebookをどの程度使用しましたか」 (ほぼ毎日、週3日以上)
 本校 81.5% 全国比△19.1ポイント (全国 62.4%)



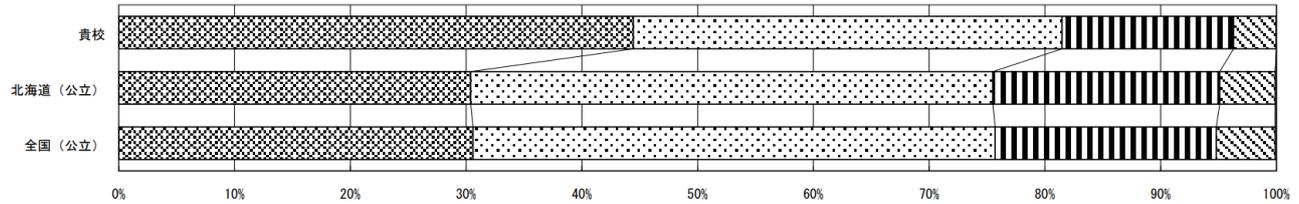
今後も児童の確かな学力の定着に向けて、適切な場面でChromebookの使用を継続していきます。

◇ 「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 92.6% 全国比△10.7ポイント (全国 81.9%)



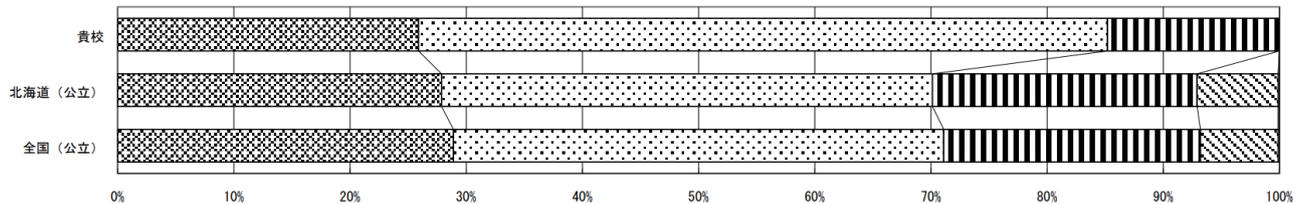
各教科で身に付けた資質・能力を他教科で生かそうとする主体的で意欲的な姿が見られます。

◇ 「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 81.4% 全国比△5.7ポイント (全国 75.7%)



対話により自己選択、自己決定し、よりよい学級を目指して自らの取組につなげるよさがあります。

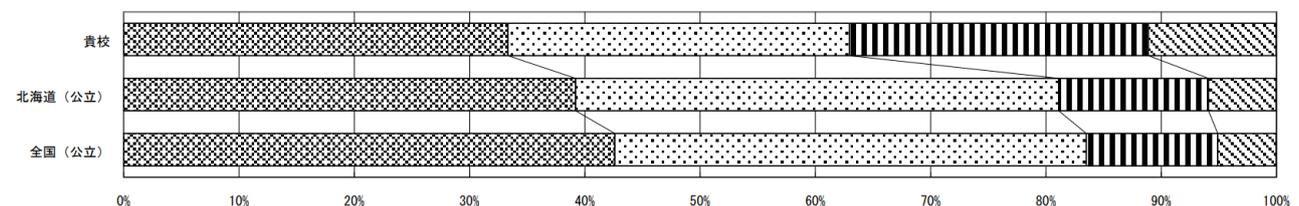
◇ 「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 85.2% 全国比△14.1ポイント (全国 71.1%)



国語の授業では、友達と学び合う学習過程から自分の文章のよさについて認識することができます。

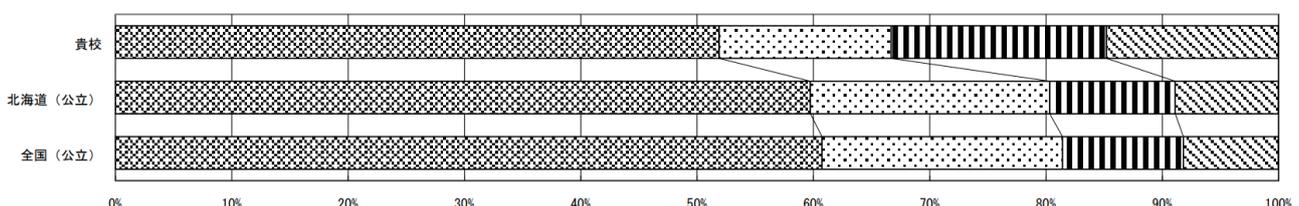
<全国平均と比較して改善が必要な項目>

◆ 「自分には、よいところがある」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 62.9% 全国比▼20.6ポイント (全国 83.5%)



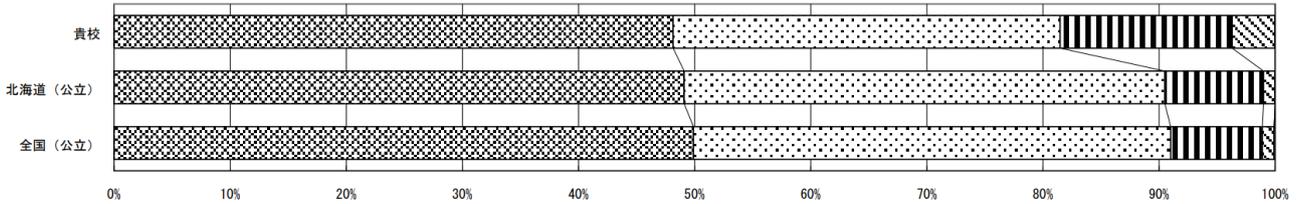
自己肯定感の低さが表れています。様々な活動を通して自分自身の価値を認識できる場を増やしていきます。

◆ 「将来の夢や目標を持っている」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 66.7% 全国比▼14.8ポイント (全国 81.5%)



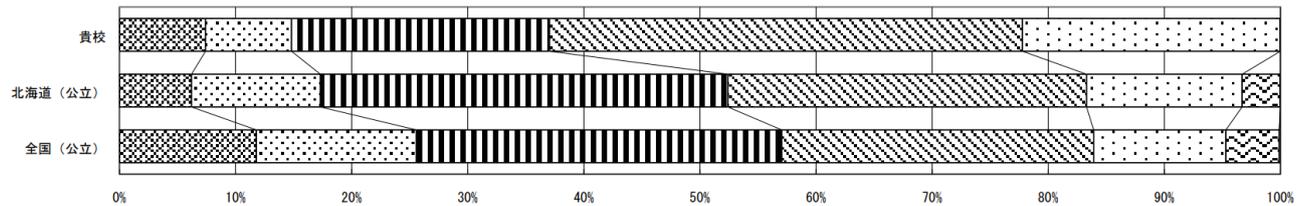
全ての子どもたちに夢をもつことの大切さを育む教育を、さらにその夢を実現できる力を身に付けさせる教育を目指します。

◆ **「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」** (ある、ときどきある)
 本校 81.4% 全国比▼9.6ポイント (全国 91.0%)



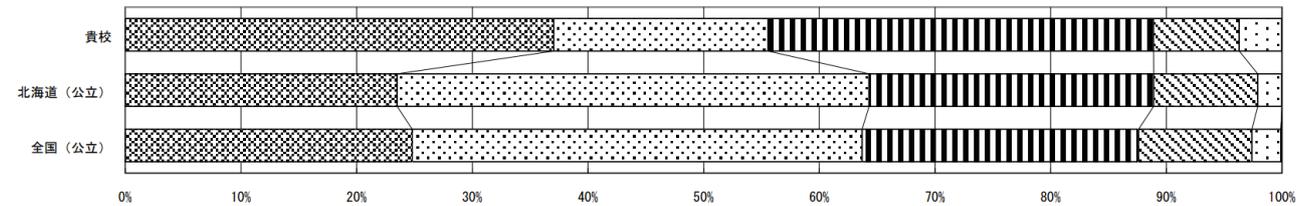
安心・安全な環境の中で、自己実現や自己受容、多様なつながりや協働する力を育成していきます。

◆ **「平日1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」** (3時間以上、2時間以上、1時間以上)
 本校 37.0% 全国比▼20.1ポイント (全国 57.1%)



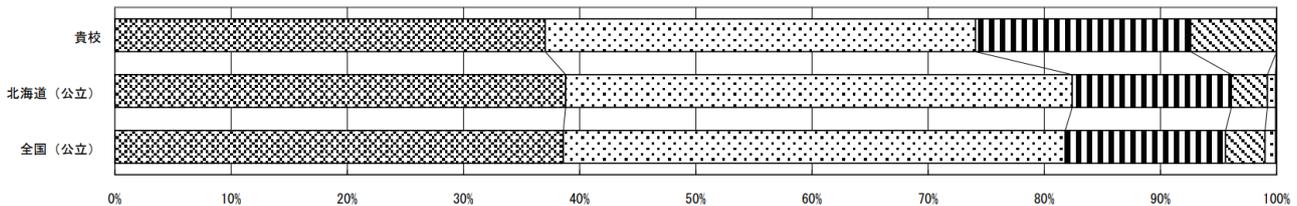
本校児童の家庭学習時間30分が約40%、1時間未満が約20%。主体的に学習する態度を育成していきます。

◆ **「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」** (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 55.5% 全国比▼8.2ポイント (全国 63.7%)



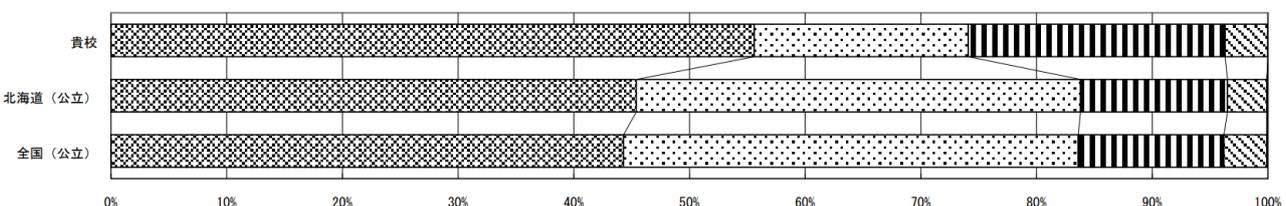
各教科の授業において、「伝える」ために必要なポイントが意識できるよう、授業を改善いたします。

◆ **「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」** (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 74.0% 全国比▼7.8ポイント (全国 81.8%)



「聞く」ポイントを明確にし、自分の考えと比較することを大切に授業づくりをしていきます。

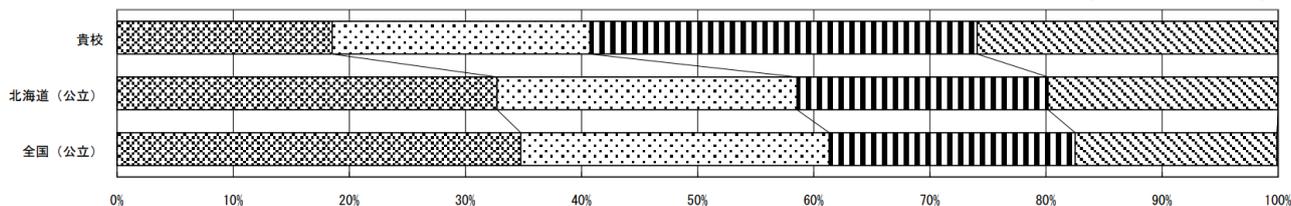
◆ **「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」** (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)
 本校 74.1% 全国比▼9.5ポイント (全国 83.6%)



道徳的価値の理解と同時に人間理解や他者理解を深める時間となるよう、考え、議論する授業を目指します。

◆ 「算数の勉強が好き」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)

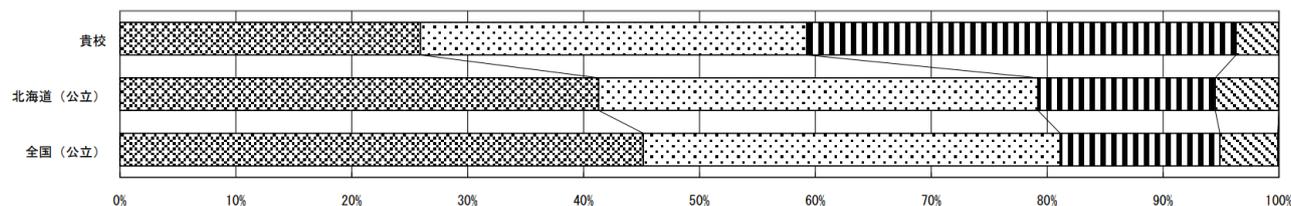
本校 40.7% 全国比▼20.7ポイント (全国 61.6%)



毎日の授業における知識・技能、考え方の確実な習得を通して、「わかった!できた!」感覚を大切にします。

◆ 「算数の授業の内容がよく分かる」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)

本校 59.2% 全国比▼22.0ポイント (全国 81.2%)



個人で様々な方法で考えたり、集団で色々な見方や考え方に触れたりできる授業の改善を図ります。

今後の本校の教育改善、指導・支援について

「自他のよさを活かし、意欲的に学び、社会を生き抜く力を育む」ことが渡島管内の教育推進の重点となっています。そのために、本校においても、以下について重点化して教育を改善していきます。

1 安心感と充実感を創り出す

〔学びの機会を保障し質を高める環境の確立〕

- ・ 共感的な人間関係の育成 ・ 安全・安心な学びの場の確立
- ・ 毎日笑顔で通える学級、学校の構築
- ・ 自分で考えたり、決めたり、やり遂げたりする場の充実

2 資質・能力を確実に身に付ける

〔子供一人一人の可能性を引き出す教育の推進〕

- ・ わかる授業への改善 ・ ICTの適切な活用による協働的な学びの実現
- ・ 一人一人の子供に寄り添った指導・支援の充実
- ・ 学んだことを活用できる学習活動の充実

お子様の学習や生活などについてご不安、ご心配なことがございましたら、いつでも小学校(2-2514)までご連絡ください。

今後も安全・安心・安定をベースとした教育環境のもと、コミュニケーションを大切に、日々成長し続けている「一人一人の子供たちへ寄り添った教育」を進め、お子様の健やかな成長を促してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。